

注3

大学番号：079

事前伺い

[令和2年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

宮崎大学大学院 教育学研究科 教職実践開発専攻

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人宮崎大学  
令和2年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 企画総務部企画評価課

職名・氏名 企画推進係長 ・ 佐藤 大希  
企画推進係主任 ・ 松田 孝光

電話番号 0985-58-7967

（夜間） 0985-58-7967

F A X 0985-58-2886

e-mail hyouka@of.miyazaki-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 教育学研究科

＜教職実践開発専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	41

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 宮崎大学

## (2) 大学名

宮崎大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イケノウエ ツヨム) 池ノ上 克 (平成27年10月)		
研究科長	(フジイ ヨシノリ) 藤井 良宜 (令和2年4月)		
専門職学位 課程統括長	(ユキ ヒデキ) 幸 秀樹 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)  
令和2年度に報告する内容 → (2)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学研究科 教職実践開発専攻 教職修士(専門職)	教員養成関係	年 2	人 20	年次 -	人 40	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	( ) [ ]	20 ( - ) [ - ]		1.25倍	一倍									
志願者数	( ) [ ]	30 ( - ) [ - ]												
受験者数	( ) [ ]	29 ( - ) [ - ]												
合格者数	( ) [ ]	27 ( - ) [ - ]												
B 入学者数	( ) [ ]	25 ( - ) [ - ]												
入学定員超過率 B/A									1.25					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次									25 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	
2年次											
計	[ ] ( )	25 [ - ] ( - )									

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ ( )内には、留学者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	25 人	0 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



## 2 授業科目の概要

<教育学研究科 教職実践開発専攻>

### (1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
	学校の危機管理の理論と事例演習B（保護者・地域住民対応）	1②	1			1	2						兼1		
	学校法規の理論と実務演習	1前	2			1							兼1		
	学校教育環境研究	1前	2										兼1		
	コース選択科目（生徒指導・教育相談分野）	生徒指導・教育相談のためのアセスメントの理論とスキル開発	1②	1			1	1						兼1	
		メンタルヘルスと臨床発達理論とスキル開発	1前	2			1							兼2	
		家庭教育支援・連携接続プログラムの理論とスキル開発	2②	1			1							兼1	
		学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習	1後	2			1	1						兼1	
		発達の理論とスキル開発	1③	1			1							兼1	
		教授・学習の理論とスキル開発	1①	1			1							兼1	
		学校心理支援の理論とスキル開発	1④	1			1	1						兼1	
	生徒指導・教育相談のスキルアップ研修プログラム	2①	1			1	1						兼1		
	教職実践高度化コース	コース選択科目（教育課程・授業研究分野）	教育課程編成の理論と方法	1前	2			1							兼2
			小規模校のカリキュラムマネジメントと授業づくり	1後	2			1	2						兼1
			教科・領域を横断する教育実践と教育方法（キャリア教育を含む）	1前	2			1	2						兼1
生活指導と学習環境づくり			1前	2				3						兼2	
授業の分析・評価と学習開発			1後	2			1	2						兼1	
情報メディア教育開発研究			1後	2				1						兼1	
道徳教育開発研究			1後	2			1	1						兼1	
特別活動開発研究			1前	2				2						兼1	
授業の成立と学習集団づくり			1後	2				2						兼1	
小計（31科目）			-	0	54	0	2	4	1	0	0			兼9	
教科領域指導力高度化コース	コース必修科目	教科領域授業研究	1前	2			4	2						兼1	
		教科領域授業開発研究	1前	2			4	2						兼1	
	教科領域内容開発研究	1前	2			3	1	1					兼1		
	コース選択科目	言語教育系授業研究	1後	2			1							兼2	
理数教育系授業研究		1後	2			1	1						兼2		

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
		学校の危機管理の理論と事例演習B（保護者・地域住民対応）	1②	1			1	2						兼1	
		学校法規の理論と実務演習	1前	2			1							兼1	
		学校教育環境研究	1前	2										兼1	
	コース選択科目（生徒指導・教育相談分野）	生徒指導・教育相談のためのアセスメントの理論とスキル開発	1②	1			1	1						兼1	
		メンタルヘルスと臨床発達理論とスキル開発	1前	2			1							兼2	
		家庭教育支援・連携接続プログラムの理論とスキル開発	2②	1			1							兼1	
		学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習	1後	2			1	1						兼1	
		発達の理論とスキル開発	1③	1			1							兼1	
		教授・学習の理論とスキル開発	1①	1			1							兼1	
		学校心理支援の理論とスキル開発	1④	1			1	1						兼1	
	生徒指導・教育相談のスキルアップ研修プログラム	2①	1			1	1						兼1		
	教職実践高度化コース	コース選択科目（教育課程・授業研究分野）	教育課程編成の理論と方法	1前	2			1							兼1
			小規模校のカリキュラムマネジメントと授業づくり	1後	2			1	2						兼1
			教科・領域を横断する教育実践と教育方法（キャリア教育を含む）	1前	2			1	2						兼1
生活指導と学習環境づくり			1前	2				3						兼2	
授業の分析・評価と学習開発			1後	2			1	2						兼1	
情報メディア教育開発研究			1後	2				1						兼1	
道徳教育開発研究			1後	2			1	1						兼1	
特別活動開発研究			1前	2				2						兼1	
授業の成立と学習集団づくり			1後	2				2						兼1	
小計（31科目）			-	0	54	0	2	4	1	0	0			兼8	
教科領域指導力高度化コース	コース必修科目	教科領域授業研究	1前	2			4	2						兼0	
		教科領域授業開発研究	1前	2			4	2						兼0	
	教科領域内容開発研究	1前	2			3	1	1					兼0		
	コース選択科目	言語教育系授業研究	1後	2			1							兼1	
理数教育系授業研究		1後	2			1	1						兼2		





## 2 授業科目の概要

<教育学研究科 教職実践開発専攻>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
	コース選択科目 特別支援学校のキャリア教育と進路指導	1後		2		1						兼1		
	特別支援教育コーディネーター論	1前		2		1		1				兼1		
	特別支援教育の家族支援論	1後		2								兼2		
	小計(9科目)	-	0	18	0	1	0	1	0	0		兼3		
教育実習科目	学校における実習 教職実践高度化コース・教科領域指導力高度化コース	基礎能力発展実習	1前		3		9	7	2				兼44	
		学校教育実践研究実習	2前		3		9	7	2				兼44	
		教育実践開発研究実習	2後		4		9	7	2				兼44	
		メンターシップ実習	2後		4		9	7	2				兼44	
		学校教育高度化実践研究実習	1前		3				1				兼1	
		教育実践高度化開発研究実習	2前		3				1				兼1	
		マネジメント実習	2後		4				1				兼1	
		学校における実習 特別支援教育コース	特別支援基礎能力発展実習	1前		3		1		1				兼3
			コーディネーター実習	1後		3		1		1				兼3
			特別支援教育実践研究実習Ⅰ	2前		3		1		1				兼3
特別支援教育実践研究実習Ⅱ	2後			4		1		1				兼3		
	小計(11科目)	-	0	37	0	10	7	3	0	0		兼48		
その他の実習	インターンシップ実習Ⅰ	1通年		1		10	7	3						
	インターンシップ実習Ⅱ	1通年		1		10	7	3						
	小計(2科目)	-	0	2	0	10	7	3	0	0				
目標達成確認科目	教職総合研究Ⅰ	1通年		2		9	7	2						
	教職総合研究Ⅱ	2通年		2		9	7	2						
	教職総合研究Ⅰ(特別支援教育)	2通年		2		1		1						
	教職総合研究Ⅱ(特別支援教育)	2通年		2		1		1						
	小計(4科目)	-	0	8	0	10	7	3	0	0				
合計(121科目)	-	12	235	0	10	7	3	0	0		兼51			

#### 【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
	コース選択科目 特別支援学校のキャリア教育と進路指導	1後		2		1						兼0		
	特別支援教育コーディネーター論	1前		2		1		1				兼1		
	特別支援教育の家族支援論	1後		2								兼2		
	小計(9科目)	-	0	18	0	1	0	1	0	0		兼2		
教育実習科目	学校における実習 教職実践高度化コース・教科領域指導力高度化コース	基礎能力発展実習	1前		3		9	7	2				兼43	
		学校教育実践研究実習	2前		3		9	7	2				兼43	
		教育実践開発研究実習	2後		4		9	7	2				兼43	
		メンターシップ実習	2後		4		9	7	2				兼43	
		学校教育高度化実践研究実習	1前		3				1				兼1	
		教育実践高度化開発研究実習	2前		3				1				兼1	
		マネジメント実習	2後		4				1				兼1	
		学校における実習 特別支援教育コース	特別支援基礎能力発展実習	1前		3		1		1				兼2
			コーディネーター実習	1後		3		1		1				兼2
			特別支援教育実践研究実習Ⅰ	2前		3		1		1				兼2
特別支援教育実践研究実習Ⅱ	2後			4		1		1				兼2		
	小計(11科目)	-	0	37	0	10	7	3	0	0		兼46		
その他の実習	インターンシップ実習Ⅰ	1通年		1		10	7	3						
	インターンシップ実習Ⅱ	1通年		1		10	7	3						
	小計(2科目)	-	0	2	0	10	7	3	0	0				
目標達成確認科目	教職総合研究Ⅰ	1通年		2		9	7	2						
	教職総合研究Ⅱ	2通年		2		9	7	2						
	教職総合研究Ⅰ(特別支援教育)	2通年		2		1		1						
	教職総合研究Ⅱ(特別支援教育)	2通年		2		1		1						
	小計(4科目)	-	0	8	0	10	7	3	0	0				
合計(121科目)	-	12	235	0	10	7	3	0	0		兼51			

## 2 授業科目の概要

<教育学研究科 教職実践開発専攻>

### (1) ① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
卒業要件及び履修方法											
<p>1. 修業年限は、原則として以下の通りとする。 ・小中高校等の教育職員免許状（一種）を取得している大学卒業および同等の有資格者は2年</p> <p>2. 各コース毎に、下記の科目から修了に必要な単位として、48単位以上を取得すること。</p> <p>【教職実践高度化コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「共通領域科目」について、5領域10科目20単位取得する。</li> <li>「教育課程の編成・実施に関する領域」より、「子どもの学びと教育課程経営」と「学校改善とカリキュラムマネジメント」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「教科等の実践的指導方法等に関する領域」より、「教科学習の構成と展開・評価と課題」、「教科外活動の構成と展開・評価と課題」、「情報メディアによる実践的指導方法と課題」の3科目6単位を取得する。</li> <li>「生徒指導・教育相談に関する領域」より「学校カウンセリングの実践と課題」と「生徒指導の実践と課題」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「学校・学級経営に関する領域」より「学級経営の実践と課題」と「学校経営の実践と課題」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「学校教育と教員の在り方に関する領域」より「現代の教育課題と学校の社会的役割」の1科目2単位を取得する。</li> <li>「コース必修科目」について、1科目2単位を取得する。</li> <li>「コース選択必修科目」について、1科目2単位を選択して取得する。</li> <li>「コース選択科目」について、各自が選択した分野から8単位を取得する。</li> </ul> <p>なお、「教育行政・学校経営分野」については、現職管理職学生は、「学校と地域との連携の実践と課題」「教育コラボレーションの理論と事例演習」「スクール・リーダーシップの理論」「小中一貫教育マネジメントの実践と理論」の4科目8単位を取得する。</p> <p>新卒既卒学生・社会人経験学生や現職教員学生は、「教職員の職能開発とプログラム開発」「学校の危機管理の理論と事例演習A（災害対応）」「学校の危機管理の理論と事例演習B（保護者・地域住民対応）」「学校法規の理論と実務演習」「学校教育環境研究」の5科目8単位を取得する。</p> <li>「自由選択科目」について、3コース全ての選択科目の中から4単位以上を取得する。</li> <li>「教育実習科目」について、10単位を取得する。</li> <p>新卒既卒学生・社会人経験学生・教職経験6年未満の現職教員学生は、「基礎能力発展実習」「学校教育実践研究実習」「教育実践開発研究実習」の計10単位を取得する。</p> <p>教職経験6年以上の現職教員学生は、「基礎能力発展実習」「学校教育実践研究実習」「メンターシップ実習」の計10単位を取得する。</p> <p>現職管理職学生は、「学校教育高度化実践研究実習」「教育実践高度化開発研究実習」「マネジメント実習」の計10単位を取得する。</p> <li>「目標達成確認科目」について、2単位を取得する。 <li>学部新卒既卒学生・社会人経験学生は、「教職総合研究Ⅱ」の2単位を取得する。</li> <li>現職教員学生・現職管理職学生は、「教職総合研究Ⅰ」の2単位を取得する。</li> <p>【教科領域指導力高度化コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「共通領域科目」について、5領域10科目20単位取得する。</li> <li>「教育課程の編成・実施に関する領域」より、「子どもの学びと教育課程経営」と「学校改善とカリキュラムマネジメント」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「教科等の実践的指導方法等に関する領域」より、「教科学習の構成と展開・評価と課題」、「教科外活動の構成と展開・評価と課題」、「情報メディアによる実践的指導方法と課題」の3科目6単位を取得する。</li> <li>「生徒指導・教育相談に関する領域」より「学校カウンセリングの実践と課題」と「生徒指導の実践と課題」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「学校・学級経営に関する領域」より「学級経営の実践と課題」と「学校経営の実践と課題」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「学校教育と教員の在り方に関する領域」より「現代の教育課題と学校の社会的役割」の1科目2単位を取得する。</li> <li>「コース必修科目」について、3科目6単位を取得する。</li> <li>「コース選択科目」について、6単位を取得する。</li> <li>「自由選択科目」について、3コース全ての選択科目の中から4単位以上を取得する。</li> <li>「教育実習科目」について、10単位を取得する。</li> </ul> <p>新卒既卒学生・社会人経験学生・教職経験6年未満の現職教員学生は、「基礎能力発展実習」「学校教育実践研究実習」「教育実践開発研究実習」の計10単位を取得する。</p> <p>教職経験6年以上の現職教員学生は、「基礎能力発展実習」「学校教育実践研究実習」「メンターシップ実習」の計10単位を取得する。</p> <li>「目標達成確認科目」について、2単位を取得する。</li> <li>学部新卒既卒学生・社会人経験学生は、「教職総合研究Ⅱ」の2単位を取得する。</li> <li>現職教員学生は、「教職総合研究Ⅰ」の2単位を取得する。</li> <p>【特別支援教育コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「共通領域科目」について、5領域10科目20単位取得する。</li> <li>「教育課程の編成・実施に関する領域」より、「特別支援学校の教育課程とカリキュラムマネジメント」と「学校改善とカリキュラムマネジメント」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「教科等の実践的指導方法等に関する領域」より、「障害児アセスメントと個別の指導計画」、「特別支援教育の教科・領域の構成と展開・評価と課題」、「情報メディアによる実践的指導方法と課題」の3科目6単位を取得する。</li> <li>「生徒指導・教育相談に関する領域」より「学校カウンセリングの実践と課題」と「生徒指導の実践と課題」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「学校・学級経営に関する領域」より「学級経営の実践と課題」と「特別支援学校・学級経営の実践と課題」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「学校教育と教員の在り方に関する領域」より「現代の教育課題と学校の社会的役割」の1科目2単位を取得する。</li> <li>「コース必修科目」について、6科目12単位を取得する。</li> <li>「自由選択科目」について、3コース全ての選択科目の中から4単位以上を取得する。</li> <li>「教育実習科目」について、10単位を取得する。</li> </ul> <p>学部新卒既卒学生・社会人経験学生は「特別支援基礎能力発展実習」及び「特別支援教育実践研究実習Ⅰ・Ⅱ」の10単位を取得する。</p> <p>現職教員学生は、「コーディネーター実習」「特別支援教育実践研究実習Ⅰ・Ⅱ」の10単位を取得する。</p> <li>「目標達成確認科目」について、2単位を取得する。</li> <li>学部新卒既卒学生・社会人経験学生は、「教職総合研究Ⅱ（特別支援教育）」の2単位を取得する。</li> <li>現職教員学生は、「教職総合研究Ⅰ（特別支援教育）」の2単位を取得する。</li> </li>											

#### 【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
卒業要件及び履修方法											
<p>1. 修業年限は、原則として以下の通りとする。 ・小中高校等の教育職員免許状（一種）を取得している大学卒業および同等の有資格者は2年</p> <p>2. 各コース毎に、下記の科目から修了に必要な単位として、48単位以上を取得すること。</p> <p>【教職実践高度化コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「共通領域科目」について、5領域10科目20単位取得する。</li> <li>「教育課程の編成・実施に関する領域」より、「子どもの学びと教育課程経営」と「学校改善とカリキュラムマネジメント」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「教科等の実践的指導方法等に関する領域」より、「教科学習の構成と展開・評価と課題」、「教科外活動の構成と展開・評価と課題」、「情報メディアによる実践的指導方法と課題」の3科目6単位を取得する。</li> <li>「生徒指導・教育相談に関する領域」より「学校カウンセリングの実践と課題」と「生徒指導の実践と課題」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「学校・学級経営に関する領域」より「学級経営の実践と課題」と「学校経営の実践と課題」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「学校教育と教員の在り方に関する領域」より「現代の教育課題と学校の社会的役割」の1科目2単位を取得する。</li> <li>「コース必修科目」について、1科目2単位を取得する。</li> <li>「コース選択必修科目」について、1科目2単位を選択して取得する。</li> <li>「コース選択科目」について、各自が選択した分野から8単位を取得する。</li> </ul> <p>なお、「教育行政・学校経営分野」については、現職管理職学生は、「学校と地域との連携の実践と課題」「教育コラボレーションの理論と事例演習」「スクール・リーダーシップの理論」「小中一貫教育マネジメントの実践と理論」の4科目8単位を取得する。</p> <p>新卒既卒学生・社会人経験学生や現職教員学生は、「教職員の職能開発とプログラム開発」「学校の危機管理の理論と事例演習A（災害対応）」「学校の危機管理の理論と事例演習B（保護者・地域住民対応）」「学校法規の理論と実務演習」「学校教育環境研究」の5科目8単位を取得する。</p> <li>「自由選択科目」について、3コース全ての選択科目の中から4単位以上を取得する。</li> <li>「教育実習科目」について、10単位を取得する。</li> <p>新卒既卒学生・社会人経験学生・教職経験6年未満の現職教員学生は、「基礎能力発展実習」「学校教育実践研究実習」「教育実践開発研究実習」の計10単位を取得する。</p> <p>教職経験6年以上の現職教員学生は、「基礎能力発展実習」「学校教育実践研究実習」「メンターシップ実習」の計10単位を取得する。</p> <p>現職管理職学生は、「学校教育高度化実践研究実習」「教育実践高度化開発研究実習」「マネジメント実習」の計10単位を取得する。</p> <li>「目標達成確認科目」について、2単位を取得する。</li> <li>学部新卒既卒学生・社会人経験学生は、「教職総合研究Ⅱ」の2単位を取得する。</li> <li>現職教員学生・現職管理職学生は、「教職総合研究Ⅰ」の2単位を取得する。</li> <p>【教科領域指導力高度化コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「共通領域科目」について、5領域10科目20単位取得する。</li> <li>「教育課程の編成・実施に関する領域」より、「子どもの学びと教育課程経営」と「学校改善とカリキュラムマネジメント」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「教科等の実践的指導方法等に関する領域」より、「教科学習の構成と展開・評価と課題」、「教科外活動の構成と展開・評価と課題」、「情報メディアによる実践的指導方法と課題」の3科目6単位を取得する。</li> <li>「生徒指導・教育相談に関する領域」より「学校カウンセリングの実践と課題」と「生徒指導の実践と課題」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「学校・学級経営に関する領域」より「学級経営の実践と課題」と「学校経営の実践と課題」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「学校教育と教員の在り方に関する領域」より「現代の教育課題と学校の社会的役割」の1科目2単位を取得する。</li> <li>「コース必修科目」について、3科目6単位を取得する。</li> <li>「コース選択科目」について、6単位を取得する。</li> <li>「自由選択科目」について、3コース全ての選択科目の中から4単位以上を取得する。</li> <li>「教育実習科目」について、10単位を取得する。</li> </ul> <p>新卒既卒学生・社会人経験学生・教職経験6年未満の現職教員学生は、「基礎能力発展実習」「学校教育実践研究実習」「教育実践開発研究実習」の計10単位を取得する。</p> <p>教職経験6年以上の現職教員学生は、「基礎能力発展実習」「学校教育実践研究実習」「メンターシップ実習」の計10単位を取得する。</p> <li>「目標達成確認科目」について、2単位を取得する。</li> <li>学部新卒既卒学生・社会人経験学生は、「教職総合研究Ⅱ」の2単位を取得する。</li> <li>現職教員学生は、「教職総合研究Ⅰ」の2単位を取得する。</li> <p>【特別支援教育コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「共通領域科目」について、5領域10科目20単位取得する。</li> <li>「教育課程の編成・実施に関する領域」より、「特別支援学校の教育課程とカリキュラムマネジメント」と「学校改善とカリキュラムマネジメント」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「教科等の実践的指導方法等に関する領域」より、「障害児アセスメントと個別の指導計画」、「特別支援教育の教科・領域の構成と展開・評価と課題」、「情報メディアによる実践的指導方法と課題」の3科目6単位を取得する。</li> <li>「生徒指導・教育相談に関する領域」より「学校カウンセリングの実践と課題」と「生徒指導の実践と課題」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「学校・学級経営に関する領域」より「学級経営の実践と課題」と「特別支援学校・学級経営の実践と課題」の2科目4単位を取得する。</li> <li>「学校教育と教員の在り方に関する領域」より「現代の教育課題と学校の社会的役割」の1科目2単位を取得する。</li> <li>「コース必修科目」について、6科目12単位を取得する。</li> <li>「自由選択科目」について、3コース全ての選択科目の中から4単位以上を取得する。</li> <li>「教育実習科目」について、10単位を取得する。</li> </ul> <p>学部新卒既卒学生・社会人経験学生は「特別支援基礎能力発展実習」及び「特別支援教育実践研究実習Ⅰ・Ⅱ」の10単位を取得する。</p> <p>現職教員学生は、「コーディネーター実習」「特別支援教育実践研究実習Ⅰ・Ⅱ」の10単位を取得する。</p> <li>「目標達成確認科目」について、2単位を取得する。</li> <li>学部新卒既卒学生・社会人経験学生は、「教職総合研究Ⅱ（特別支援教育）」の2単位を取得する。</li> <li>現職教員学生は、「教職総合研究Ⅰ（特別支援教育）」の2単位を取得する。</li>											

## 2 授業科目の概要

<教育学研究科 教職実践開発専攻>

### (1) ① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	

#### 【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
  - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【令和2年度】**

・令和2年3月辞職により、「特別支援学校の教育課程とカリキュラムマネジメント」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「教科学習の構成と展開・評価と課題」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「教育課程編成の理論と方法」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「教科領域授業開発研究」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「教科領域内容開発研究」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「言語教育系授業研究」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「言語教育系授業開発研究」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「言語教育系内容開発研究」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「言語教育系内容開発基礎研究ⅠB（米文学）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「言語教育系内容開発基礎研究ⅡB（英文学）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「特別支援教育実践研究」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「インクルーシブ教育論」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「特別支援学校のキャリア教育と進路指導」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「基礎能力発展実習」の専任教員等の配置を「兼44」から「兼43」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「学校教育実践研究実習」の専任教員等の配置を「兼44」から「兼43」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「教育実践開発研究実習」の専任教員等の配置を「兼44」から「兼43」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「メンターシップ実習」の専任教員等の配置を「兼44」から「兼43」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「特別支援基礎能力発展実習」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「コーディネーター実習」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「特別支援教育実践研究実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」へ変更。
・令和2年3月辞職により、「特別支援教育実践研究実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」へ変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	115 科目	0 科目	121 科目	6 科目 [ 0 ]	115 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	121 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・実習・その他	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・実習・その他	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「現代の教育行財政の現状と課題」、「スクール・リーダーシップの理論」及び「小中一貫教育マネジメントの実践と理論」については、履修希望者がいなかったため未開講。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{121} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	386,343㎡	0㎡	0㎡	386,343㎡			
	運動場用地	107,787㎡	0㎡	0㎡	107,787㎡			
	小 計	494,130㎡	0㎡	0㎡	494,130㎡			
	そ の 他	7,356,114㎡	0㎡	0㎡	7,356,114㎡			
	合 計	7,850,244㎡	0㎡	0㎡	7,850,244㎡			
(2) 校 舎	専 用	109,829㎡	0㎡	0㎡	109,829㎡			
	( 109,829㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 109,829㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	142室	326室	834室	13室 (補助職員 0人)	4室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	教育学研究科			室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定が 不可能のため、大学全 体の数  設備更新及び充実化等 に伴う増減(2)
	教育学研究科	628,873 [183,596] 629,325 [183,095]	15,014 [4,476] 20,491 [10,152]	5,803 [5,803] 5,670 [5,670]	5,090	39,788 37,735	70	
		<del>-(628,873 -[183,596])</del> (629,325 [183,095])	<del>-(15,014 [4,476])</del> (20,491 [10,152])	<del>-(5,803 [5,803])</del> (5,670 [5,670])	(5,090)	<del>-(39,788)</del> (37,735)	(70)	
	計	628,873 [183,596] 629,325 [183,095]	15,014 [4,476] 20,491 [10,152]	5,803 [5,803] 5,670 [5,670]	5,090	39,788 37,735	70	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	7,005㎡		853席		553,694冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	4,444㎡		武道場、弓道場、多目的グラウンド、球技コート、テニスコート、プール					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	宮崎大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
教育学部											
学校教育課程	4	120	0	480	学士(教育学)	1.04	1.05	-	平成28	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
教育文化学部											
人間社会課程	-	-	-	-	-	-	-	-	平成20	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	平成28年度学生募集停止
医学部											
医学科	6	110		660	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	平成15	宮崎県宮崎市清武町木原5200	定員変更(10)
看護学科	4	60	3年次10	260	学士(看護学)	1.01	1.01	-	平成15	宮崎県宮崎市清武町木原5200	
工学部											
環境応用化学科	4	58		232	学士(工学)	1.00	1.00	-	平成24	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
社会環境システム工学科	4	53		212	学士(工学)	1.01	1.03	-	平成24	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
環境ロボティクス学科	4	49		196	学士(工学)	1.02	1.02	-	平成24	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
機械設計システム工学科	4	54		216	学士(工学)	1.02	1.03	-	平成24	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
電子物理工学科	4	53		212	学士(工学)	1.00	1.00	-	平成24	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
電気システム工学科	4	49		196	学士(工学)	1.01	1.02	-	平成24	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
情報システム工学科	4	54		216	学士(工学)	1.02	1.00	-	平成24	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
学部共通			3年次10	20							
農学部											
植物生産環境科学科	4	52		208	学士(農学)	1.04	1.07	-	平成22	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
森林緑地環境科学科	4	52		208	学士(農学)	1.04	1.09	-	平成22	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
応用生物科学科	4	57		228	学士(農学)	1.04	1.05	-	平成22	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
海洋生物環境学科	4	33		132	学士(農学)	1.06	1.06	-	平成22	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
畜産草地球科学科	4	61		244	学士(農学)	1.01	1.00	-	平成22	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
獣医学科	6	30		180	学士(獣医学)	1.04	1.06	-	平成22	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
地域資源創成学部											
地域資源創成学科	4	90		360	学士(地域資源創成学)	1.05	1.02	-	平成28		
大学全体	-	1,035	3年次20	4,460	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	宮崎大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
教育学研究科											
(専門職学位課程)											
教職実践開発専攻	2	20	-	20	教職修士(専門職)	1.25	1.25	令和2	令和2	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
(修士課程)											
学校教育支援専攻	-	-	-	-	修士(教育学)	-	-	-	平成20	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	令和2年度学生募集停止

看護学研究科 (修士課程) 看護学専攻	2	10	-	20	修士 (看護学)	1.00	1.20	-	平成26	宮崎県宮崎市清武町木原5200	
工学研究科 (修士課程) 工学専攻	2	134	-	268	修士 (工学)	1.01	0.94	-	平成28	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
農学研究科 (修士課程) 農学専攻	2	68	-	136	修士 (農学) 修士 (水産学) 修士 (学術)	0.96	1.07	-	平成26	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
地域資源創成学研究科 (修士課程) 地域資源創成学専攻	2	5	-	5	修士 (地域資源 創成学)	1.40	1.40	令和2	令和2	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
医学獣医学総合研究科 (修士課程) 医科学獣医学専攻	2	10	-	18	修士 (医学) 修士 (動物医学)	1.16	1.20	令和2	平成26	宮崎県宮崎市清武町木原5200	定員変更(2)
(博士課程) 医学獣医学専攻	4	23	-	92	博士 (医学) 博士 (獣医学)	1.32	1.04	-	平成22	宮崎県宮崎市清武町木原5200	
医学系研究科 (博士課程) 医学専攻	-	-	-	-	博士 (医学)	-	-	-	平成20	宮崎県宮崎市清武町木原5200	平成22年度 学生募集停止
農学工学総合研究科 (博士後期課程) 資源環境科学専攻	3	7	-	21	博士 (農学)	1.23	0.85	-	平成19	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
生物機能応用科学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	0.50	0.50	-	平成19	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
物質・情報工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学) 博士 (学術)	1.26	1.00	-	平成19	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	
大学院全体		286	-	607							

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。  
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学研究科 教職実践開発専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	幸 秀樹 (令和2年4月) 教育学修士
		教科学習の構成と展開・評価と課題 教科領域授業研究 教科領域内容開発研究 芸術教育系授業研究 芸術教育系授業開発研究 芸術教育系内容開発研究 芸術教育系内容開発基礎研究ⅠB(美術・平面表現) 芸術教育系内容開発基礎研究ⅡB(美術・立体表現) 芸術教育系内容開発基礎研究ⅢB(造形鑑賞) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
		菅 裕 (令和2年4月) 修士(教育学)
専	教授	菅 裕 (令和2年4月) 修士(教育学)
		教科領域授業開発研究 芸術教育系授業研究 芸術教育系授業開発研究 芸術教育系内容開発研究 芸術教育系内容開発基礎研究ⅠA(声楽) 芸術教育系内容開発基礎研究ⅡA(器楽・合奏) 芸術教育系内容開発基礎研究ⅢA(音楽理論) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
		吉村 功太郎 (令和2年4月) 教育学修士
専	教授	吉村 功太郎 (令和2年4月) 教育学修士
		教科学習の構成と展開・評価と課題 教科領域授業研究 教科領域授業開発研究 社会認識教育系授業研究 社会認識教育系授業開発研究 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅡA(経済学) 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅡB(法学・政治学) 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅢA(社会学) 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅢB(倫理学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
		吉村 功太郎 (令和2年4月) 教育学修士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	幸 秀樹 (令和2年4月) 教育学修士
		教科学習の構成と展開・評価と課題 教科領域授業研究 教科領域内容開発研究 芸術教育系授業研究 芸術教育系授業開発研究 芸術教育系内容開発研究 芸術教育系内容開発基礎研究ⅠB(美術・平面表現) 芸術教育系内容開発基礎研究ⅡB(美術・立体表現) 芸術教育系内容開発基礎研究ⅢB(造形鑑賞) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
		菅 裕 (令和2年4月) 修士(教育学)
専	教授	菅 裕 (令和2年4月) 修士(教育学)
		教科領域授業開発研究 芸術教育系授業研究 芸術教育系授業開発研究 芸術教育系内容開発研究 芸術教育系内容開発基礎研究ⅠA(声楽) 芸術教育系内容開発基礎研究ⅡA(器楽・合奏) 芸術教育系内容開発基礎研究ⅢA(音楽理論) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
		吉村 功太郎 (令和2年4月) 教育学修士
専	教授	吉村 功太郎 (令和2年4月) 教育学修士
		教科学習の構成と展開・評価と課題 教科領域授業研究 教科領域授業開発研究 社会認識教育系授業研究 社会認識教育系授業開発研究 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅡA(経済学) 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅡB(法学・政治学) 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅢA(社会学) 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅢB(倫理学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
		吉村 功太郎 (令和2年4月) 教育学修士

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大平 明夫 〈令和2年4月〉 博士(地理学)
		教科領域内容開発研究 社会認識教育系内容開発研究 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅠA (地理学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
専	教授	中山 迅 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教科学習の構成と展開・評価と課題 教科領域授業研究 教科領域授業開発研究 理数教育系授業研究 理数教育系授業開発研究 理数教育系内容開発基礎研究ⅠB(物理学) 理数教育系内容開発基礎研究ⅢB(生物学・地学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
専	教授	三輪 佳見 〈令和2年4月〉 博士(コーチング学)
		教科学習の構成と展開・評価と課題 教科領域授業開発研究 教科領域内容開発研究 スポーツ・生活科学教育系授業開発研究 スポーツ・生活科学教育系内容開発研究 スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅠA(身体能力形成) スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅡA(競争スポーツ) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
専	教授	伊波(有澤) 富久美 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教科領域授業研究 スポーツ・生活科学教育系授業研究 スポーツ・生活科学教育系授業開発研究 スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅠB(食物・保育) スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅣB(家庭経営) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大平 明夫 〈令和2年4月〉 博士(地理学)
		教科領域内容開発研究 社会認識教育系内容開発研究 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅠA (地理学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
専	教授	中山 迅 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教科学習の構成と展開・評価と課題 教科領域授業研究 教科領域授業開発研究 理数教育系授業研究 理数教育系授業開発研究 理数教育系内容開発基礎研究ⅠB(物理学) 理数教育系内容開発基礎研究ⅢB(生物学・地学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
専	教授	三輪 佳見 〈令和2年4月〉 博士(コーチング学)
		教科学習の構成と展開・評価と課題 教科領域授業開発研究 教科領域内容開発研究 スポーツ・生活科学教育系授業開発研究 スポーツ・生活科学教育系内容開発研究 スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅠA(身体能力形成) スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅡA(競争スポーツ) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
専	教授	伊波(有澤) 富久美 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教科領域授業研究 スポーツ・生活科学教育系授業研究 スポーツ・生活科学教育系授業開発研究 スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅠB(食物・保育) スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅣB(家庭経営) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	<p>氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等</p> <p>椋木 香子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)</p>
		<p>子どもの学びと教育課程経営 教科外活動の構成と展開・評価と課題 現代の教育課題と教育実践 教科・領域を横断する教育実践と教育方法(キャリア教育を含む) 授業の分析・評価と学習開発 道徳教育開発研究 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ</p>
専	教授	<p>立元 真 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)</p>
		<p>生徒指導の実践と課題 学校カウンセリングの実践と課題 現代の教育課題と教育実践 予防・開発的な生徒指導の理論とスキル開発 学校の危機管理の理論と事例演習B(保護者・地域住民対応) 生徒指導・教育相談のためのアセスメントの理論とスキル開発 メンタルヘルスと臨床発達心理学の理論とスキル開発 家庭教育支援・連携接続プログラムの理論とスキル開発 学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習 発達の理論とスキル開発 学校心理支援の理論とスキル開発 生徒指導・教育相談のスキルアップ研修プログラム 小規模校のカリキュラムマネジメントと授業づくり 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ</p>
専	教授	<p>戸ヶ崎 泰子 ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)</p>
		<p>障害児アセスメントと個別の指導計画 特別支援教育の教科・領域の構成と展開・評価と課題 特別支援学校・学級経営の実践と課題 障害児教育の理論と実践 自立活動論 発達障害児教育の理論と実践 障害のある子どもの事例研究法 特別支援教育実践研究 特別支援学校のキャリア教育と進路指導 特別支援教育コーディネーター論 特別支援基礎能力発展実習 コーディネーター実習 特別支援教育実践研究実習Ⅰ 特別支援教育実践研究実習Ⅱ インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ(特別支援教育) 教職総合研究Ⅱ(特別支援教育)</p>

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	<p>氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等</p> <p>椋木 香子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)</p>
		<p>子どもの学びと教育課程経営 教科外活動の構成と展開・評価と課題 現代の教育課題と教育実践 教科・領域を横断する教育実践と教育方法(キャリア教育を含む) 授業の分析・評価と学習開発 道徳教育開発研究 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ</p>
専	教授	<p>立元 真 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)</p>
		<p>生徒指導の実践と課題 学校カウンセリングの実践と課題 現代の教育課題と教育実践 予防・開発的な生徒指導の理論とスキル開発 学校の危機管理の理論と事例演習B(保護者・地域住民対応) 生徒指導・教育相談のためのアセスメントの理論とスキル開発 メンタルヘルスと臨床発達心理学の理論とスキル開発 家庭教育支援・連携接続プログラムの理論とスキル開発 学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習 発達の理論とスキル開発 学校心理支援の理論とスキル開発 生徒指導・教育相談のスキルアップ研修プログラム 小規模校のカリキュラムマネジメントと授業づくり 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ</p>
専	教授	<p>戸ヶ崎 泰子 ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)</p>
		<p>障害児アセスメントと個別の指導計画 特別支援教育の教科・領域の構成と展開・評価と課題 特別支援学校・学級経営の実践と課題 障害児教育の理論と実践 自立活動論 発達障害児教育の理論と実践 障害のある子どもの事例研究法 特別支援教育実践研究 特別支援学校のキャリア教育と進路指導 特別支援教育コーディネーター論 特別支援基礎能力発展実習 コーディネーター実習 特別支援教育実践研究実習Ⅰ 特別支援教育実践研究実習Ⅱ インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ(特別支援教育) 教職総合研究Ⅱ(特別支援教育)</p>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	永吉 寛行 <令和2年4月> 修士(学校教育)
		教科領域授業研究 教科領域授業開発研究 言語教育系授業研究 言語教育系授業開発研究 言語教育系内容開発基礎研究ⅢA(古典) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
専	准教授	木根 主税 <令和2年4月> 博士(教育学)
		教科学習の構成と展開・評価と課題 教科領域内容開発研究 理数教育系授業研究 理数教育系内容開発研究 理数教育系内容開発基礎研究ⅠA(代数学) 理数教育系内容開発基礎研究ⅢA(解析学・応用数学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
専	准教授	湯田 拓史 <令和2年4月> 博士(学術)
		学級経営の実践と課題 学校経営の実践と課題 現代の教育課題と教育実践 授業研究と教師の成長 学校組織マネジメントと評価 現代の教育行財政の現状と課題 学校と地域との連携の実践と課題 教育コラボレーションの理論と事例演習 スクール・リーダーシップの理論 小中一貫教育マネジメントの実践と理論 教職員の職能開発とプログラム開発 学校の危機管理の理論と事例演習A(災害対応) 学校の危機管理の理論と事例演習B(保護者・地域住民対応) 学校法規の理論と実務演習 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 学校教育高度化実践研究実習 教育実践高度化開発研究実習 マネジメント実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	永吉 寛行 <令和2年4月> 修士(学校教育)
		教科領域授業研究 教科領域授業開発研究 言語教育系授業研究 言語教育系授業開発研究 言語教育系内容開発基礎研究ⅢA(古典) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
専	准教授	木根 主税 <令和2年4月> 博士(教育学)
		教科学習の構成と展開・評価と課題 教科領域内容開発研究 理数教育系授業研究 理数教育系内容開発研究 理数教育系内容開発基礎研究ⅠA(代数学) 理数教育系内容開発基礎研究ⅢA(解析学・応用数学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
専	准教授	湯田 拓史 <令和2年4月> 博士(学術)
		学級経営の実践と課題 学校経営の実践と課題 現代の教育課題と教育実践 授業研究と教師の成長 学校組織マネジメントと評価 現代の教育行財政の現状と課題 学校と地域との連携の実践と課題 教育コラボレーションの理論と事例演習 スクール・リーダーシップの理論 小中一貫教育マネジメントの実践と理論 教職員の職能開発とプログラム開発 学校の危機管理の理論と事例演習A(災害対応) 学校の危機管理の理論と事例演習B(保護者・地域住民対応) 学校法規の理論と実務演習 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 学校教育高度化実践研究実習 教育実践高度化開発研究実習 マネジメント実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	竹内 元 (令和2年4月) 修士(教育学)
		子どもの学びと教育課程経営 教科外活動の構成と展開・評価と課題 現代の教育課題と教育実践 授業研究と教師の成長 学校の危機管理の理論と事例演習B (保護者・地域住民対応) 小規模校のカリキュラムマネジメントと授業づくり 教科・領域を横断する教育実践と教育方法(キャリア教育を含む) 生活指導と学習環境づくり 授業の分析・評価と学習開発 授業の成立と学習集団づくり 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
実専	准教授	後藤 洋司 (令和2年4月) 教育学学士
		教科学習の構成と展開・評価と課題 情報メディアによる実践的指導方法と課題 学級経営の実践と課題 教科領域授業研究 教科領域授業開発研究 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
実専	准教授	東迫 健一 (令和2年4月) 学士(理学)
		生徒指導の実践と課題 学校カウンセリングの実践と課題 現代の教育課題と教育実践 予防・開発的な生徒指導の理論とスキル開発 生徒指導・教育相談のためのアセスメントの理論とスキル開発 学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習 教授・学習の理論とスキル開発 学校心理支援の理論とスキル開発 生徒指導・教育相談のスキルアップ研修プログラム 生活指導と学習環境づくり 特別活動開発研究 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	竹内 元 (令和2年4月) 修士(教育学)
		子どもの学びと教育課程経営 教科外活動の構成と展開・評価と課題 現代の教育課題と教育実践 授業研究と教師の成長 学校の危機管理の理論と事例演習B (保護者・地域住民対応) 小規模校のカリキュラムマネジメントと授業づくり 教科・領域を横断する教育実践と教育方法(キャリア教育を含む) 生活指導と学習環境づくり 授業の分析・評価と学習開発 授業の成立と学習集団づくり 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
実専	准教授	後藤 洋司 (令和2年4月) 教育学学士
		教科学習の構成と展開・評価と課題 情報メディアによる実践的指導方法と課題 学級経営の実践と課題 教科領域授業研究 教科領域授業開発研究 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
実専	准教授	東迫 健一 (令和2年4月) 学士(理学)
		生徒指導の実践と課題 学校カウンセリングの実践と課題 現代の教育課題と教育実践 予防・開発的な生徒指導の理論とスキル開発 生徒指導・教育相談のためのアセスメントの理論とスキル開発 学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習 教授・学習の理論とスキル開発 学校心理支援の理論とスキル開発 生徒指導・教育相談のスキルアップ研修プログラム 生活指導と学習環境づくり 特別活動開発研究 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
実専	准教授	安影 亜紀 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		子どもの学びと教育課程経営 現代の教育課題と教育実践 授業研究と教師の成長 教育課程編成の理論と方法 小規模校のカリキュラムマネジメントと授業づくり 教科・領域を横断する教育実践と教育方法(キャリア教育を含む) 生活指導と学習環境づくり 授業の分析・評価と学習開発 情報メディア教育開発研究 道徳教育開発研究 特別活動開発研究 授業の成立と学習集団づくり 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
実み	講師	武富 志郎 〈令和2年4月〉 教育学士
		特別支援学校の教育課程とカリキュラムマネジメント 特別支援教育の教科・領域の構成と展開・評価と課題 特別支援学校・学級経営の実践と課題 現代の教育課題と学校の社会的役割 教育コラボレーションの理論と事例演習 自立活動論 特別支援教育コーディネーター論 特別支援基礎能力発展実習 コーディネーター実習 特別支援教育実践研究実習Ⅰ 特別支援教育実践研究実習Ⅱ インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ(特別支援教育) 教職総合研究ⅠⅠ(特別支援教育)
実み	講師	坂元 徹 〈令和2年4月〉 教育学士
		基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
実み	講師	中野 通彦 〈令和2年4月〉 教育学士
		学校改善とカリキュラムマネジメント 教科外活動の構成と展開・評価と課題 現代の教育課題と学校の社会的役割 教科領域内容開発研究 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
実専	准教授	野邊 孝大 〈令和2年4月〉 教育学士
		子どもの学びと教育課程経営 現代の教育課題と教育実践 授業研究と教師の成長 教育課程編成の理論と方法 小規模校のカリキュラムマネジメントと授業づくり 教科・領域を横断する教育実践と教育方法(キャリア教育を含む) 生活指導と学習環境づくり 授業の分析・評価と学習開発 情報メディア教育開発研究 道徳教育開発研究 特別活動開発研究 授業の成立と学習集団づくり 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
実み	講師	武富 志郎 〈令和2年4月〉 教育学士
		特別支援学校の教育課程とカリキュラムマネジメント 特別支援教育の教科・領域の構成と展開・評価と課題 特別支援学校・学級経営の実践と課題 現代の教育課題と学校の社会的役割 教育コラボレーションの理論と事例演習 自立活動論 特別支援教育コーディネーター論 特別支援基礎能力発展実習 コーディネーター実習 特別支援教育実践研究実習Ⅰ 特別支援教育実践研究実習Ⅱ インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ(特別支援教育) 教職総合研究ⅠⅠ(特別支援教育)
実み	講師	坂元 徹 〈令和2年4月〉 教育学士
		基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ
実み	講師	金子 文雄 〈令和2年4月〉 芸術学士
		学校改善とカリキュラムマネジメント 教科外活動の構成と展開・評価と課題 現代の教育課題と学校の社会的役割 教科領域内容開発研究 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習 インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 教職総合研究Ⅰ 教職総合研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中村 佳文 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		言語教育系内容開発基礎研究ⅡA(国文学) 言語教育系内容開発基礎研究ⅢA(古典) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	添田 佳伸 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		理数教育系授業研究 理数教育系授業開発研究 理数教育系内容開発基礎研究ⅡA(幾何学) 理数教育系内容開発基礎研究ⅢA(解析学・応用数学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	日高 正博 〈令和2年4月〉 博士(学校教育学)
		スポーツ・生活科学教育系授業研究 スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅡA(競争スポーツ) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	藤元 嘉安 〈令和2年4月〉 博士(農学)
		スポーツ・生活科学教育系授業研究 スポーツ・生活科学教育系内容開発研究 スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅠC(技術) スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅡC(栽培) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	村端 五郎 〈令和2年4月〉 教育学修士
		言語教育系授業開発研究 言語教育系内容開発研究 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	中村 周作 〈令和2年4月〉 博士(地理学)
		社会認識教育系内容開発研究 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅠA(地理学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中村 佳文 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		言語教育系内容開発基礎研究ⅡA(国文学) 言語教育系内容開発基礎研究ⅢA(古典) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	添田 佳伸 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		理数教育系授業研究 理数教育系授業開発研究 理数教育系内容開発基礎研究ⅡA(幾何学) 理数教育系内容開発基礎研究ⅢA(解析学・応用数学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	日高 正博 〈令和2年4月〉 博士(学校教育学)
		スポーツ・生活科学教育系授業研究 スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅡA(競争スポーツ) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	藤元 嘉安 〈令和2年4月〉 博士(農学)
		スポーツ・生活科学教育系授業研究 スポーツ・生活科学教育系内容開発研究 スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅠC(技術) スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅡC(栽培) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	村端 五郎 〈令和2年4月〉 教育学修士
		言語教育系授業開発研究 言語教育系内容開発研究 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	中村 周作 〈令和2年4月〉 博士(地理学)
		社会認識教育系内容開発研究 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅠA(地理学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	石川 千佳子 <令和2年4月> 修士(芸術学)
		芸術教育系内容開発研究 芸術教育系内容開発基礎研究ⅠB(美術・平面表現) 芸術教育系内容開発基礎研究ⅢB(造形鑑賞) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	塚本 泰造 <令和2年4月> 文学修士
		言語教育系内容開発基礎研究ⅠA(国語学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	秋山 博臣 <令和2年4月> 博士(理学)
		理数教育系内容開発基礎研究ⅠB(物理学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	中林 健一 <令和2年4月> 修士(工学)
		理数教育系内容開発基礎研究ⅡB(化学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	藤井 良宜 <令和2年4月> 博士(理学)
		理数教育系内容開発基礎研究ⅢA(解析学・応用数学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	八ツ橋 寛子 <令和2年4月> 博士(理学)
		理数教育系内容開発基礎研究ⅢB(生物学・地学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	関 周一 <令和2年4月> 博士(文学)
		社会認識教育系授業開発研究 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅠB(歴史学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	石川 千佳子 <令和2年4月> 修士(芸術学)
		芸術教育系内容開発研究 芸術教育系内容開発基礎研究ⅠB(美術・平面表現) 芸術教育系内容開発基礎研究ⅢB(造形鑑賞) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	塚本 泰造 <令和2年4月> 文学修士
		言語教育系内容開発基礎研究ⅠA(国語学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	秋山 博臣 <令和2年4月> 博士(理学)
		理数教育系内容開発基礎研究ⅠB(物理学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	中林 健一 <令和2年4月> 修士(工学)
		理数教育系内容開発基礎研究ⅡB(化学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	藤井 良宜 <令和2年4月> 博士(理学)
		理数教育系内容開発基礎研究ⅢA(解析学・応用数学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	八ツ橋 寛子 <令和2年4月> 博士(理学)
		理数教育系内容開発基礎研究ⅢB(生物学・地学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	関 周一 <令和2年4月> 博士(文学)
		社会認識教育系授業開発研究 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅠB(歴史学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	金谷 義弘 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		社会認識教育系内容開発基礎研究ⅡA (経済学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	柏葉 武秀 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		社会認識教育系内容開発基礎研究ⅢB (倫理学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	藤本 いく代 ＜令和2年4月＞ 修士(芸術学)
		芸術教育系内容開発研究 芸術教育系内容開発基礎研究ⅠA(声 楽) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	阪本 幹子 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		芸術教育系授業開発研究 芸術教育系内容開発基礎研究ⅡA(器 楽・合奏) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	松永 智 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		スポーツ・生活科学教育系内容開発基 礎研究ⅠA(身体能力形成) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	篠原 久枝 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		スポーツ・生活科学教育系内容開発研 究 スポーツ・生活科学教育系内容開発基 礎研究ⅠB(食物・保育) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	新地 辰朗 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		情報メディアによる実践の指導方法と 課題 情報メディア教育開発研究

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	金谷 義弘 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		社会認識教育系内容開発基礎研究ⅡA (経済学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	柏葉 武秀 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		社会認識教育系内容開発基礎研究ⅢB (倫理学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	藤本 いく代 ＜令和2年4月＞ 修士(芸術学)
		芸術教育系内容開発研究 芸術教育系内容開発基礎研究ⅠA(声 楽) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	阪本 幹子 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		芸術教育系授業開発研究 芸術教育系内容開発基礎研究ⅡA(器 楽・合奏) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	松永 智 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		スポーツ・生活科学教育系内容開発基 礎研究ⅠA(身体能力形成) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	教授	篠原 久枝 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		スポーツ・生活科学教育系内容開発研 究 スポーツ・生活科学教育系内容開発基 礎研究ⅠB(食物・保育) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	講師	<b>小林 博典</b> <b>＜令和2年4月＞</b> <b>修士(教育学)</b>
		情報メディアによる実践の指導方法と 課題 情報メディア教育開発研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	河原 国男  〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		現代の教育課題と学校の社会的役割 教育課程編成の理論と方法
兼任	准教授	野添 生  〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		理数教育系授業研究 理数教育系授業開発研究 理数教育系内容開発研究 理数教育系内容開発基礎研究ⅡB(化学) 理数教育系内容開発基礎研究ⅢB(生物学・地学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	藤本 将人  〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		社会認識教育系授業研究 社会認識教育系授業開発研究 社会認識教育系内容開発研究 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅠA(地理学) 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅠB(歴史学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	下村 崇  〈令和2年4月〉 博士(理学)
		理数教育系授業開発研究 理数教育系内容開発基礎研究ⅠB(物理学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	西田 伸  〈令和2年4月〉 博士(理学)
		理数教育系内容開発研究 理数教育系内容開発基礎研究ⅢB(生物学・地学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	井崎 浩  〈令和2年4月〉 文学修士
		言語教育系内容開発基礎研究ⅠB(米文学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	野添 生  〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		理数教育系授業研究 理数教育系授業開発研究 理数教育系内容開発研究 理数教育系内容開発基礎研究ⅡB(化学) 理数教育系内容開発基礎研究ⅢB(生物学・地学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	藤本 将人  〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		社会認識教育系授業研究 社会認識教育系授業開発研究 社会認識教育系内容開発研究 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅠA(地理学) 社会認識教育系内容開発基礎研究ⅠB(歴史学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	下村 崇  〈令和2年4月〉 博士(理学)
		理数教育系授業開発研究 理数教育系内容開発基礎研究ⅠB(物理学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	西田 伸  〈令和2年4月〉 博士(理学)
		理数教育系内容開発研究 理数教育系内容開発基礎研究ⅢB(生物学・地学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	井崎 浩  〈令和2年4月〉 文学修士
		言語教育系内容開発基礎研究ⅠB(米文学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	新名 桂子 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		言語教育系内容開発基礎研究ⅡB(英文学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	山元 宣宏 ＜令和2年4月＞ 博士(人間・環境学)
		言語教育系内容開発基礎研究ⅢA(古典) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	有井 秀和 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		理数教育系内容開発基礎研究ⅡB(化学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	山北 聡 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		理数教育系内容開発基礎研究ⅢB(生物学・地学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	中堀 博司 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		社会認識教育系内容開発基礎研究ⅠB(歴史学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	大泉 佳広 ＜令和2年4月＞ 博士(芸術)
		芸術教育系内容開発基礎研究ⅠB(美術・平面表現) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	大野 匠 ＜令和2年4月＞ 博士(美術)
		芸術教育系内容開発基礎研究ⅡB(美術・立体表現) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	新名 桂子 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		言語教育系内容開発基礎研究ⅡB(英文学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	山元 宣宏 ＜令和2年4月＞ 博士(人間・環境学)
		言語教育系内容開発基礎研究ⅢA(古典) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	有井 秀和 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		理数教育系内容開発基礎研究ⅡB(化学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	山北 聡 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		理数教育系内容開発基礎研究ⅢB(生物学・地学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	中堀 博司 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		社会認識教育系内容開発基礎研究ⅠB(歴史学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	大泉 佳広 ＜令和2年4月＞ 博士(芸術)
		芸術教育系内容開発基礎研究ⅠB(美術・平面表現) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	大野 匠 ＜令和2年4月＞ 博士(美術)
		芸術教育系内容開発基礎研究ⅡB(美術・立体表現) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	湯地 敏史 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅠC(技術) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	東條 弘子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教科学習の構成と展開・評価と課題 教科領域授業開発研究 教科領域内容開発研究 言語教育系授業研究 言語教育系授業開発研究 言語教育系内容開発研究 言語教育系内容開発基礎研究ⅠB(米文学) 言語教育系内容開発基礎研究ⅡB(英文学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	浦 雄一 ＜令和2年4月＞ 博士(音楽芸術)
		芸術教育系内容開発基礎研究ⅡA(器楽・合奏) 芸術教育系内容開発基礎研究ⅢA(音楽理論) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	大矢 英世 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅡB(被服) スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅢB(住居) スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅣB(家庭経営) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	遠藤 宏美 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		学校改善とカリキュラムマネジメント 現代の教育課題と教育実践 小中一貫教育マネジメントの実践と理論 家庭教育支援・連携接続プログラムの理論とスキル開発 教育課程編成の理論と方法 小規模校のカリキュラムマネジメントと授業づくり 教科・領域を横断する教育実践と教育方法(キャリア教育を含む) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	湯地 敏史 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅠC(技術) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	
兼任	准教授	浦 雄一 ＜令和2年4月＞ 博士(音楽芸術)
		芸術教育系内容開発基礎研究ⅡA(器楽・合奏) 芸術教育系内容開発基礎研究ⅢA(音楽理論) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	大矢 英世 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅡB(被服) スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅢB(住居) スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅣB(家庭経営) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	遠藤 宏美 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		学校改善とカリキュラムマネジメント 現代の教育課題と教育実践 小中一貫教育マネジメントの実践と理論 家庭教育支援・連携接続プログラムの理論とスキル開発 教育課程編成の理論と方法 小規模校のカリキュラムマネジメントと授業づくり 教科・領域を横断する教育実践と教育方法(キャリア教育を含む) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	盛満 弥生 ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)
		教科外活動の構成と展開・評価と課題 現代の教育課題と教育実践 教育コラボレーションの理論と事例演習 学校教育環境研究 生活指導と学習環境づくり 特別活動開発研究 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	高橋 高人 ＜令和2年4月＞ 博士(臨床心理学)
		メンタルヘルスと臨床発達理論とスキル開発 生徒指導の実践と課題 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	高橋 利行 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		現代の教育課題と学校の社会的役割 学校と地域との連携の実践と課題 教育コラボレーションの理論と事例演習
兼任	准教授	境 泉洋 ＜令和2年4月＞ 博士(人間科学)
		学校カウンセリングの実践と課題 生徒指導・教育相談のためのアセスメントの理論とスキル開発 メンタルヘルスと臨床発達理論とスキル開発 学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習 生活指導と学習環境づくり 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	中野 登志美 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		言語教育系授業研究 言語教育系内容開発研究 言語教育系内容開発基礎研究ⅠA(国語学) 言語教育系内容開発基礎研究ⅡA(国文学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	中井 靖 ＜令和2年4月＞ 博士(保健学)
		障害児アセスメントと個別の指導計画 特別支援教育実践研究 特別支援教育の家族支援論 特別支援基礎能力発展実習 コーディネーター実習 特別支援教育実践研究実習Ⅰ 特別支援教育実践研究実習Ⅱ

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	盛満 弥生 ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)
		教科外活動の構成と展開・評価と課題 <b>現代の教育課題と学校の社会的役割</b> 現代の教育課題と教育実践 教育コラボレーションの理論と事例演習 学校教育環境研究 生活指導と学習環境づくり 特別活動開発研究 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	高橋 高人 ＜令和2年4月＞ 博士(臨床心理学)
		メンタルヘルスと臨床発達理論とスキル開発 生徒指導の実践と課題 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	高橋 利行 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		現代の教育課題と学校の社会的役割 学校と地域との連携の実践と課題 教育コラボレーションの理論と事例演習
兼任	准教授	境 泉洋 ＜令和2年4月＞ 博士(人間科学)
		学校カウンセリングの実践と課題 生徒指導・教育相談のためのアセスメントの理論とスキル開発 メンタルヘルスと臨床発達理論とスキル開発 学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習 生活指導と学習環境づくり 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	中野 登志美 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		言語教育系授業研究 言語教育系内容開発研究 言語教育系内容開発基礎研究ⅠA(国語学) 言語教育系内容開発基礎研究ⅡA(国文学) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	中井 靖 ＜令和2年4月＞ 博士(保健学)
		障害児アセスメントと個別の指導計画 特別支援教育実践研究 特別支援教育の家族支援論 特別支援基礎能力発展実習 コーディネーター実習 特別支援教育実践研究実習Ⅰ 特別支援教育実践研究実習Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	半田 健 〈令和2年4月〉 博士(障害科学)
		特別支援学校の教育課程とカリキュラムマネジメント 特別支援教育の教科・領域の構成と展開・評価と課題 特別支援学校・学級経営の実践と課題 障害児教育の理論と実践 自立活動論 発達障害児教育の理論と実践 障害のある子どもの事例研究法 特別支援教育実践研究 インクルーシブ教育論 特別支援教育コーディネーター論 特別支援教育の家族支援論 特別支援基礎能力発展実習 コーディネーター実習 特別支援教育実践研究実習Ⅰ 特別支援教育実践研究実習Ⅱ
兼任	講師	権 信珍 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別支援学校の教育課程とカリキュラムマネジメント 特別支援学校のキャリア教育と進路指導 特別支援教育実践研究 インクルーシブ教育論 特別支援基礎能力発展実習 コーディネーター実習 特別支援教育実践研究実習Ⅰ 特別支援教育実践研究実習Ⅱ
兼任	講師	森崎 由理江 〈令和2年4月〉 修士(体育学)
		スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅡA(競争スポーツ) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	講師	宇土 昌志 〈令和2年4月〉 修士(体育学)
		スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅠA(身体能力形成) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	講師	塩瀬 圭佑 〈令和2年4月〉 博士(スポーツ健康科学)
		スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅢA(保健) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	講師	尾之上 高哉 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		発達の理論とスキル開発 教授・学習の理論とスキル開発 授業の分析・評価と学習開発 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	半田 健 〈令和2年4月〉 博士(障害科学)
		特別支援学校の教育課程とカリキュラムマネジメント 特別支援教育の教科・領域の構成と展開・評価と課題 特別支援学校・学級経営の実践と課題 障害児教育の理論と実践 自立活動論 発達障害児教育の理論と実践 障害のある子どもの事例研究法 特別支援教育実践研究 インクルーシブ教育論 特別支援教育コーディネーター論 特別支援教育の家族支援論 特別支援基礎能力発展実習 コーディネーター実習 特別支援教育実践研究実習Ⅰ 特別支援教育実践研究実習Ⅱ
兼任	講師	志々目 由理江 〈令和2年4月〉 修士(体育学)
		スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅡA(競争スポーツ) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	講師	宇土 昌志 〈令和2年4月〉 修士(体育学)
		スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅠA(身体能力形成) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	講師	塩瀬 圭佑 〈令和2年4月〉 博士(スポーツ健康科学)
		スポーツ・生活科学教育系内容開発基礎研究ⅢA(保健) 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習
兼任	准教授	尾之上 高哉 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		発達の理論とスキル開発 教授・学習の理論とスキル開発 授業の分析・評価と学習開発 基礎能力発展実習 学校教育実践研究実習 教育実践開発研究実習 メンターシップ実習

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本 真司  ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		学級経営の実践と課題 学校経営の実践と課題 現代の教育課題と教育実践 学校組織マネジメントと評価 現代の教育行財政の現状と課題 スクール・リーダーシップの理論 小中一貫教育マネジメントの実践と理論 教職員の職能開発とプログラム開発 学校の危機管理の理論と事例演習A (災害対応) 学校の危機管理の理論と事例演習B (保護者・地域住民対応) 学校法規の理論と実務演習 学校教育高度化実践研究実習 教育実践高度化開発研究実習 マネジメント実習

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本 真司  ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		学級経営の実践と課題 学校経営の実践と課題 現代の教育課題と教育実践 学校組織マネジメントと評価 現代の教育行財政の現状と課題 スクール・リーダーシップの理論 小中一貫教育マネジメントの実践と理論 教職員の職能開発とプログラム開発 学校の危機管理の理論と事例演習A (災害対応) 学校の危機管理の理論と事例演習B (保護者・地域住民対応) 学校法規の理論と実務演習 学校教育高度化実践研究実習 教育実践高度化開発研究実習 マネジメント実習

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

**【令和2年度】**

- ・令和2年3月就任辞退により、「安影亜紀（実専）」を削除するとともに、後任の「野邊孝大（実専）」を追加。
- ・令和2年3月就任辞退により、「中野通彦（実み）」を削除するとともに、後任の「金子文雄（実み）」を追加。
- ・理事職専念のためにより、「新地辰朗（兼任）」を削除するとともに、後任の「小林博典（兼任）」を追加。
- ・令和2年3月退職により、「河原国男（兼任）」を削除。
- ・令和2年3月辞職により、「東條弘子（兼任）」を削除。
- ・授業科目の充実のためにより、「盛満弥生（兼任）」を担当教員として追加。
- ・令和2年3月辞職により、「権信珍（兼任）」を削除。
- ・改姓により、「森崎由理江（兼任）」の名字を変更。
- ・昇任により、「尾之上高哉（兼任）」の職位を変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
13 名	7 名	6 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【教職大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
10	7	3	0	20	0	10	7	3	0	20	0
(10)	(7)	(3)	(0)	(20)	(0)						
研究者教員数			講義のみ担当の教員数			研究者教員数			講義のみ担当の教員数		
14			6			14			6		
(14)			(6)			(14)			(6)		
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
10	7	3	0	20	0	10	7	3	0	20	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究者教員数			講義のみ担当の教員数			研究者教員数			講義のみ担当の教員数		
14			6			14			6		
[ 0 ]			[ 0 ]			[ 0 ]			[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{20}{20} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由					
1	准教授	安影亜紀	R2.4	選択	子どもの学びと教育課程経営	①	R2.3 退職のため就任辞退 (2)					
				選択	現代の教育課題と教育実践	①						
				選択	授業研究と教師の成長	①						
				選択	教育課程編成の理論と方法	①						
				選択	小規模校のカリキュラムマネジメントと授業づく	①						
				選択	教科・領域を横断する教育実践と教育方法（キャリア指導と学習環境づくり）	①						
				選択	授業の分析・評価と学習開発	①						
				選択	情報メディア教育開発研究	①						
				選択	道徳教育開発研究	①						
				選択	特別活動開発研究	①						
				選択	授業の成立と学習集団づくり	①						
				選択	基礎能力発展実習	①						
				選択	学校教育実践研究実習	①						
				選択	教育実践開発研究実習	①						
				選択	メンターシップ実習	①						
				2	講師	中野 通彦		R2.4	必修	学校改善とカリキュラムマネジメント	①	R2.3 退職のため就任辞退 (2)
									選択	教科外活動の構成と展開・評価と課題	①	
必修	現代の教育課題と学校の社会的役割	①										
選択	教科領域内容開発研究	①										
選択	基礎能力発展実習	①										
選択	学校教育実践研究実習	①										
選択	教育実践開発研究実習	①										
選択	メンターシップ実習	①										
選択	インターンシップ実習Ⅰ	①										
選択	インターンシップ実習Ⅱ	①										
選択	教職総合研究Ⅰ	①										
選択	教職総合研究Ⅱ	①										
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
2	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目			
		選択	30 科目	選択	30 科目	選択	0 科目	選択	0 科目			
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目			
		計	32 科目	計	32 科目	計	0 科目	計	0 科目			

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                 |
|---------------------------------|
| ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」         |
| ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」       |
| ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
該当なし							
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目
		選択	30	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	32	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{2}{20} = 10\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
該当なし							
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

安影亜紀准教授及び中野通彦講師の後任については、令和2年4月1日付けで就任し、全ての授業科目を引き継いでおり、学生の履修に支障は無い。  
学生に対しては、大学院生オリエンテーション及び時間割等で周知した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、  
今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<h1>該当なし</h1>			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <教育学研究科 教職実践開発専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

教職実践開発専攻の各コースから選出された教員及び実務家教員からなるFD専門委員会を設置している。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

年3回開催。FD委員6名が参集し、学生による授業評価のとりまとめ、FDワークショップ、FD研修会の開催準備等、FDの推進等に関する協議を行う。

第1回委員会 4月7日13:00-14:30 FD委員 6名参加 本年度の研修計画を審議

###### c 委員会の審議事項等

- (1) FDに関する活動を推進及び支援すること。
- (2) FDに関する情報の交換及び共有を推進すること。
- (3) FDに関する事項について、必要に応じ研究科教務委員会に提言を行うこと。
- (4) その他FDに関すること。

##### ② 実施状況（設置直後のため計画予定を記載）

###### a 実施内容

- ・FDワークショップ 1回 5月22日に開催予定
- ・FD研修会 2回 11月と2月に開催予定

###### b 実施方法（設置直後のため計画予定を記載）

・FDワークショップ：教職大学院のすべての院生及び教員が参加し、大学院の学びとして約1か月経過した段階での気づいた点を共有するとともに、今後の教育研究の方向性、課題等についての自己分析等を行うなどにより、院生と教員が連携した授業改善及び指導力向上を図る。

・FD研修会：共通必修科目の課題と改善策について、各科目の授業担当者が1人8分の報告を行う。報告の後、2分の質疑応答の時間を設け、課題と改善策について共有する。ルーブリック・教育実習の評価方法について、各担当者からの報告の後、今後の検討事項について共有する。

###### c 開催状況（教員の参加状況含む）

###### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況（設置直後のため計画予定を記載）

a 実施の有無及び実施時期

年2回 7月と2月

b 教員や学生への公開状況、方法等

2回のFD研修会(教員のみ参加)で、学生による授業評価アンケートの結果を報告し、個々の授業についての質疑と協議を行う予定。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

（委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。  
併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。）

宮崎大学大学院教育学研究科教育課程連携協議会

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

設置直後のため実績はないが、年1回を予定。

c 委員会の審議事項等

- (1) 教育課程の編成に関すること。
- (2) 教育課程の実施及び実施状況の評価に関すること。
- (3) その他協議会が必要と認めたこと。

d その他

② 審議状況（令和2年3月9日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症対応により新年度に延期が決定し、開催日程については調整中。）

a 審議した内容（令和2年3月9日に開催予定であった委員会の議題）

- ・宮崎大学大学院教職実践開発専攻コース再編
- ・令和2年度カリキュラムの概要
- ・令和2年度教育課程連携協議会日程

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
設置認可後、若干の教員の変更があったが、計画どおりに開設・運用している。
- ② 自己点検・評価報告書
  - a 公表（予定）時期
    - ・令和3年10月末予定
  - b 公表方法
    - ・大学ホームページに公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・令和4年に評価機関（教員養成評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和2年度）
  - a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]
- ◀ aで「有」の場合▶
  - b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]
  - c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]
- ◀ aで公表「無」の場合▶
  - d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。